

専門研修会を行いました



8月19日(金)、公立藤田総合病院の言語聴覚士 宗像良多先生をお招きして、教職員を対象に研修会を行いました。

「安全でおいしい食事を目指して ～摂食指導と発声発語～」

と題して、話をさせていただきました。



👉簡単ではありますが、講演の内容をご紹介します。

○誤嚥・窒息のリスク管理

・誤嚥を防ぐためには、自食、介助食とともに頸部・体幹が安定し、食事の途中で崩れることのない姿勢(ポジショニング)を選択する。

・食事形態(ペースト、ゼリー、ソフト食、一口大など)の選択。



○摂食嚥下指導について

・咀嚼訓練

舌の側方運動ができない場合

えびせんなどのスティック状の菓子などを介助者が手に持って臼歯部に乗って噛ませる。

舌の側方運動ができる場合

ビスケットやポッキーのような歯ごたえのある菓子や、煮野菜(人参、大根等)を少し大きめに与える。

※粗刻みにするとあまり噛もうとせず丸のみしやすい。

○嚥下と発声発語器官の関係～言葉の発達～

・幼い時期は「1対象1ラベル」を心がけることがポイント。

(例:○「あ、犬だよ!」 ○「あ、ワンワンだよ!」 ×「あ、犬だよ!ワンワンだよ!」)

